

東南アジア知財ネットワーク 2016年総会
議事概要

2017年3月23日

東南アジア知財ネットワーク事務局

(1) 開会挨拶

- ・豊田幹事より開会挨拶

(2) 自己紹介

- ・シンガポール会場、東京会場、タイ会場の順に自己紹介。

(3) 2016年度下半期の活動報告及び2017年度の活動予定(事務局より)

- ・事務局の活動予定
 - ✓ 5月16日にアセアン特許庁シンポジウム2017が金沢で開催される。
- ・インドネシア、ベトナムでの技術説明会の報告
 - ✓ インドネシアは昨年4月の開催に続き2回目でNEC社より説明。1回目では説明した個別案件のうち半数程度が登録。ベトナムは初開催でパナソニック社より説明。
- ・タイ真贋判定セミナー2017のお知らせ
 - ✓ 現在、バンコクと国境(ラオスとの国境)の2か所で6月末開催予定。

(4) 2016年度下半期の活動報告及び2017年度の活動予定(各WGより)

① タイWG

- ・タイ税関との意見交換会
 - ✓ 意匠権は税関差止の保護対象ではない。税関のみで法改正の対応は不可。DIPとの連携が必要とのこと。
- ・DIP Suppressionとの意見交換会
 - ✓ 法改正には慎重な対応が求められるとのこと。具体的な問題を提示する等して根気強く提案したい。
- ・技術説明会(UACJ)の報告

② インドネシアWG

- ・インドネシアにおける情報共有
 - ✓ 年金問題の対応について日系企業は基本的に年金を支払っている。年金問題ケーススタディーを作成予定。
- ・インドネシア知財総局における技術説明会、工場見学
 - ✓ YKK社より技術説明会等を実施。工場見学が大変好評であった。
- ・インドネシア知財勉強会

③ ベトナムWG

- ・知財保護情報収集(権利化)SG
 - ✓ INTA-MOSTの周知商標保護プロジェクトに引き続き関与
- ・模倣品対策SG
 - ✓ ベトナムの模倣対策法制度の概要・課題を、行政・刑事摘発、水際差し止め、民事訴訟の各側面に分けて、調査、検討。インターネット対策も実施。
- ・意匠実務SGについて
 - ✓ ベトナム知財の鑑定機関であるVIPRIと「意匠の類否判断」をテーマに1月12日にワークショップ実施。また、翌日13日にNOIPラム副長官及び意匠課と同様に「意匠の類否判断」について意見交換。継続的な実施を要望される。次回は商標の類否判断をテーマとしたい。VIPRIの鑑定と裁判所の判断はほぼ一致している模様。VIPRIの鑑定事例の検討は有益と思われる。

(5) 全体を通じての質疑応答、意見交換

- ✓ 模倣品対策SG、意匠実務SGの活動実績を共有してほしい。⇒機密事項を削除し共有できる範囲で共有する。
- ✓ VIPRIとの意見交換では特許の権利行使も検討してはどうか。⇒特許の件数は少ないと思われるが検討する。
- ✓ ベトナムWGの今後のあり方について検討したい。近日中にジェトロからSEAIPJメンバーにベトナムで取り組むべき課題についての要望アンケートを実施する(あわせて、タイ・インドネシアについても要望取り)。アンケート結果を踏まえて、来年度の活動内容・形態についてWGメンバーと相談する。

(6) 事務連絡

- ✓ 今年9月頃中間会合開催。日時は追って連絡。